

# ペドログリフ2020 ～Engrave the history～



第45代理事長 古川 一裕

2020年も2月を迎え皆さんは健康に生活できているでしょうか。今まさに世界中で健康問題が話題の中心となっています。中国武漢から急速に拡散しているコロナウイルスを皆さんはどのような目で見ているでしょうか。健康を害され不安の中にいる方にとっては大変失礼な表現になりますが、コロナウイルスの出現により露にされた世界各国の国民性や政治経済の状況は、青年会議所の活動運動を推進する上で我々に無数の気づきと学びを与えて続けていると私は受け止めています。好奇心を持ち、物事をあらゆる角度から捉え思考し行動に移すのが地域を担うjayceeにとって不可欠な資質です。積極的に様々な事象に関心を向け自らの糧としてください。

青年会議所にとっての1月2月は京都会議をはじめ各地団体の新年会など外交的な動きが多くなる時期です。その場で交わされる言葉からは自らの活動への様々な期待や不安を感じ取ることが出来ます。喜多方でも今まさに各委員会の事業計画が実行段階となり、計画通りの部分や予定外の出来事など日々状況は変化しています。その中で期待よりも不安が大きくなり怯み立ち止まっているメンバーはいないでしょうか。この時期の活動は不安定になりがちですが、今の踏ん張りが2020年度活動の成果に与える影響と充実感は計り知れません。1人が全ての活動を担う事はできません。自らを信じ、仲間を信じる不退転の気概を持ち、共に2020年度会津喜多方青年会議所を作り上げましょう！

今年は独断で私が青年会議所理事長として得た様々な機会からの学びを伝える企画を立ち上げますのでお付き合いください。第1回目は福島ブロック新春の集いのLOM紹介で使う予定で準備していましたが諸事情により没になったメッセージです。

## 《2月の一言》

早く進みたければ一人で進め。遠くへたどり着きたいなら仲間と共に進め。心を一つにすることが出来れば夢に向かって無限の道筋を描く事が出来る。夢に描いたことは全て実現可能な事である。やれ。

## ～新春のつどい開催～

公益社団法人日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会2020年度新春のつどいに参加してまいりました。新春の集いでは「SDGs推進共同宣言文調印式」をはじめ、アカデミー委員会開校式と新年式典を行いました。



開校式では、各LOMから出向した会員が一同に集い、自己の成長とLOMの発展のために1年間活動することを決意しました。当LOMからは、佐藤健太郎君と中野拓実君の2名が出向しています。その後の式典では、福島ブロック協議会会長菅野譲君より2020年度運動方針の発表があり、また各LOMの理事長によるスローガンの発表と決意表明を行いました。参加者一同、理事長の表明を受け、気持ちを新たにすることが出来ました。

## ～1月総会報告～

2020年1月21日（火）総会が開かれました。

本総会には出席者16人、委任状提出者7人、欠席者1人となり、定款第34条の規定により総会の決議を執り行いました。総会の冒頭では、理事長 佐藤雅一君より2019年度の様々な活動・運動を振り返り、1年間の想いを語って頂きました。2019年度の事業報告と決算の承認を頂きまして、無事2019年度を締めることとなりました。

2020年度は、新たに理事11名、外部監事1名が選出され満場異議なくこれを可決承認となりました。心新たに2020年度新体制の一般社団法人会津喜多方青年会議所としての活動・運動を行ってまいります。そして、諸先輩方には引き続きご指導ご鞭撻のほど、またご支援を賜りながら歩んで参る決意とさせていただきます。



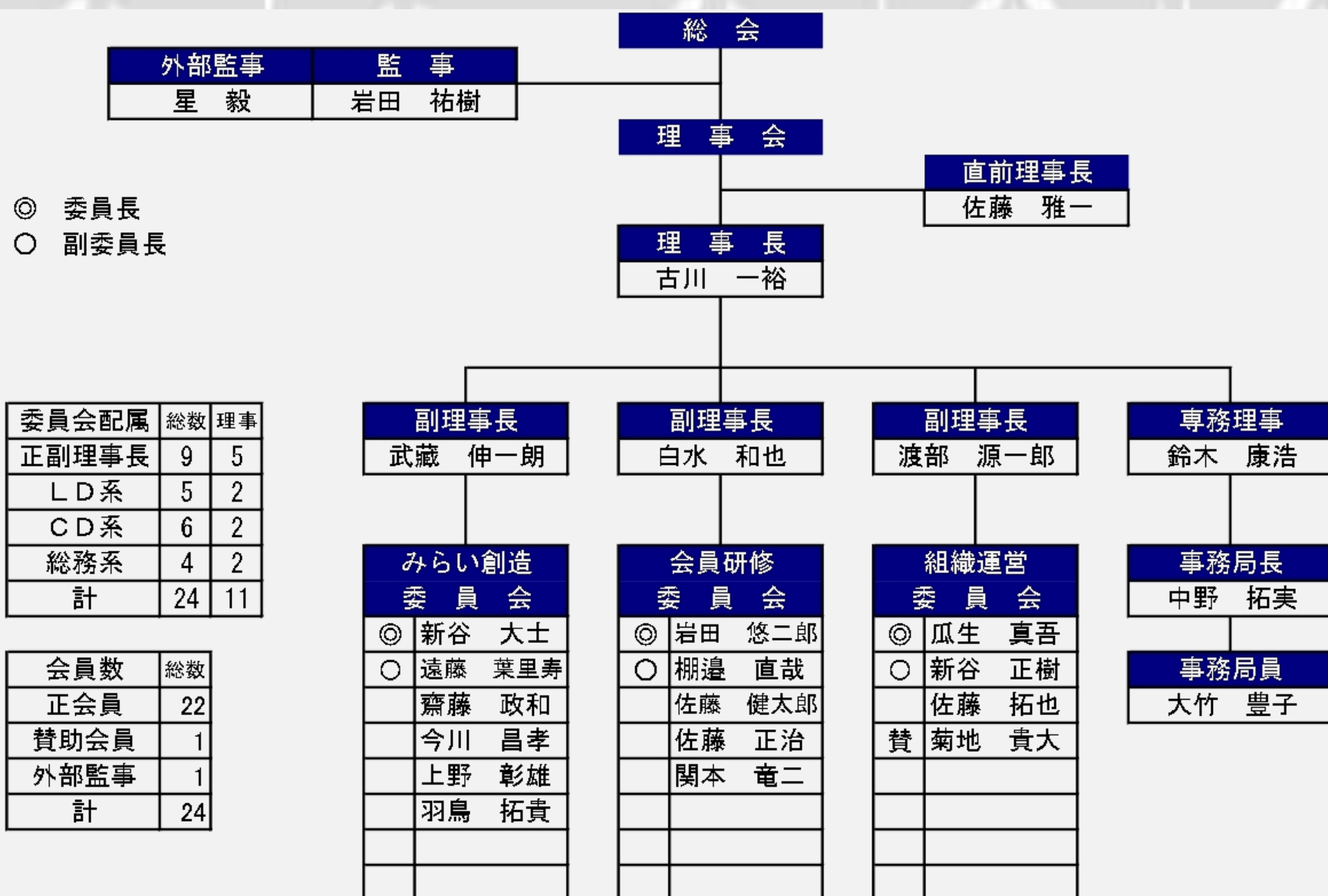
## ～1月例会報告～

昨年度は、45周年事業で次第の表紙を会津型のデザインを用いたり、卒業式には振る舞い酒のラベルに会津型のデザインを活用してみたりと、会津型について議論や活用など様々な試みを行ってきました。今年は、その試みをもう一步前進させることが必要だと感じ、1月例会で会津型の型彫体験を企画しました。事前の勉強会では、会津型とはなにか？をテーマに喜多方と会津型との関係や歴史を学んでいきました。また、会津型の特徴を学び伊勢、京都、江戸との違いを知り、会津型のストーリーに触れることでより深い学びを得ることが出来ました。



そして、実際に会津型の型彫体験を行うことで、会津型のデザインの奥深さや型彫に必要な技術力の高さを感じると共に、彫った型紙による絵付けは想像以上に体験価値の高いものでした。この体験を行ったことで、さらに難しい会津型へ挑戦したいという意欲が湧き、他のデザインも彫ってみたいという想いが生まれるなど、体験後に得られる満足度は非常に高いものでした。今回の型彫体験を通して、我々自身が講師となり地域へ伝えていく方法や会津型の活用方法などをさらに深く考えるきっかけとなり、今後の活動への意欲と愛着を醸成できたと考えます。

## ★2020年度 組織図★



## ～ 3 委員長の抱負・想い～

### 組織運営委員会 委員長 瓜生真吾

今年で4年目となる2020年度は、2回目の委員長として、前回の経験を活かしながら更に高い壁へ挑戦する年だと感じています。入会2年目で初めて委員長を任されたときには、JCのルールや1年間の流れ、議案の書き方、時間の使い方など覚えることが多かったことが思い出されます。

また、人に仕事を任せながら例会の企画・準備・運営・報告など次々とやることのある中で、委員会をまとめるという事の大変さを経験してきました。なによりも仕事の時間も使わなければならなかったことが、とても辛かった記憶があります。その時の苦悩や苛立ちなどの感情を外へ向けてしまっていたと気づくようになり、そのことをとても後悔しています。その時の自分を振り返ると主体的に物事を捉えることが出来ず、すべての結果は自分の行動に依るところであるという意識がなかったのだと気づくようになってきました。自分自身のマインドをコントロールする術を身に付け、さらに能力を伸ばしていく自覚が必要だと感じました。

そのため、今年はこれまでの経験を活かし過去の自分を乗り越える機会であると考えています。時間の使い方や委員会のまとめ方など一杯一杯だった2年前よりも、少しでも前進している自分を作り出すことを目標として1年間の活動を行う決意があります。そして、物事を中心に自分がいるという意識を常に持ち続けることを意識付けしていく1年にしていきます。



### みらい創造委員会 委員長 新谷大士

委員会スローガン「温故知新」を掲げ、現状の事業の見直しを図り、新たな試みを行う1年に致します。まずは緊急時災害協定を社会福祉協議会と昨年結びましたが、2年目としてより一層の協力体制を構築し、来るべく有事の災害時に率先して動ける様な連携体制の基盤作りを行います。また選挙教育プログラム「みらいく」の内容充実と若年層への選挙教育の扉を広げ、将来選挙権を取得した際は必ず投票するという政治参加意識向上を図ります。

一般市民向けには会津型の啓蒙活動や例年も行っている青少年育成事業の開催。年末の納会・卒業式担当等、ボリューム感のある一年ですが、委員全員「ONE TEAM」の精神で実りある委員会運営を行います。私個人としては委員長として自覚と責任を持ち、様々な困難に立ち向かって行く所存です。年末には「この委員会メンバーで良かった」と思える様、委員会メンバー一同一致団結して、活動内容の充実した1年を過ごして参ります。

会員の皆様にもご協力を頂きつつ、楽しくも温かい委員会運営に努めて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



### 会員研修委員会 委員長 岩田悠二郎

2014年に入会した青年会議所も今年で6年目になりました。今年34歳になるので、ちょうど折り返しの歳です。

JCライフの半生を振り返ると入会してからイマイチ熱が入らなかった6年間だったと反省しております。2年目から副委員長、委員長、事務局長、副委員長と拝名させて頂きましたが、恐らく期待に応えられてはいなかったと思います。

退会を検討した時期もありましたが、諸々思うところがあり、辞めるなら一度真剣に取り組もうと昨年半ばから熱意をもって参加させて頂いております。

今年の干支は子年です。子年は生まれ変わりの歳とよく耳にします。青年会議所自体も変化を社会に問われているでしょうし、私自身の変化も理事長をはじめとしたメンバーに求められていると思います。

未来のLOMの根幹を担う若いメンバーを預らせて頂いた事に感謝をしながら、6年間のご迷惑を恩返ししたいと思います。

今年一年よろしくお祈りします



## ～Topics of the Month～

今月のトピックスは、現在話題になっている「新型コロナウイルス」についてです。

この問題は観光業でも大きな影響を受けています。中国政府が1月27日付けて海外への団体旅行を禁止した！との発表があり、これにより観光庁から宿泊予約キャンセル数の調査協力の要請がありました。また、中国に帰国したくない中国人観光客が山形蔵王で連泊をしているという話も聞いています。我々に出来ることは必要以上に恐れず、正しい知識と対策を行うことだと思います。以下は厚生労働省が発表している「新型コロナウイルス」に関する内容です。

### 新型コロナウイルスに関するQ&A

Q1. コロナウイルスはどのようなウイルスですか？

A1. 発熱や上気道症状を引き起こすウイルスで、人に感染を起こすものは6種類（内2種類はコウモリ、ヒトコブラクダのコロナウイルスがヒトに感染したこと）あることが分かっています。

Q2. 新型コロナウイルスはヒトからヒトへうつるのですか？

A2. 中国国内ではヒトからヒトへの感染は認められるものの、ヒトからヒトへの感染の程度は明らかではありません。

Q3. 潜伏期間はどのくらいの長さですか？

A3. 潜伏期間は現在のところ不明ですが、他のコロナウイルスの状況などから、最大14日程度と考えられています。

Q4. 予防法はありますか？

A4. 一般的な衛生対策として、咳エチケットや手洗い、うがい、アルコール消毒など行っていただくようお願いします。

## 2月例会告知 会員研修委員会 委員長 岩田悠二郎

皆さん、マナーに自信がありますか？

と質問したら大半のメンバーは、自信がないと答えるはずで、自信がないことは学ぶしかありません。笑

2月例会は「見つめなおそう…あなたのマナー」というテーマでビジネスマナーを中心に行います。

講師は川島ゆう子先生です。先生は元々JALのCAであり、現在はマナー講師としてご活躍されております。昨年、天皇陛下御即位の折には、海外のVIP対応にもご活躍されました。福島県では唯一マナープロトコール検定の1級を所持しております。

通常は企業向けのセミナーを都内などで開催しており、講演をいただくのはなかなか貴重な機会です。名刺交換などの実技から始まり、挨拶、身だしなみ、振る舞いなど目から鱗な内容ばかりです。

これからの季節、歓送迎会などで多くの人と交流する機会が増えてくると思います。

JCのメンバーはしっかりしていると思っていただくためにも是非、ご参加よろしく願いいたします



YUKO  
KAWASHIMA

SAKE♥LABO FukushimaJPN

日本航空国際線でCAを32年間勤め、2013年からNHK文化センターで『唎酒講座』『マナー講座』を担当する国際唎酒師・日本酒学講師。文部科学省後援「マナー・プロトコール検定1級」取得（県内唯一）。福島市内で日本酒研究会、『SAKE LABO 福島JPN』を主催。最近では訪日外国人も増える中、日本酒に興味を持つ外国人向けに英語での日本酒ナビゲーター認定講座も行う。福島・宮城・東京などで日本酒の出前講座の実績多数。

## ～喜多方聖火リレー応援事業告知～

昨年（2019年）、正式に喜多方へオリンピック・パラリンピックの聖火リレーがやってくるという情報が入ってきました。1964年東京オリンピックから実に50年以上が経っての2度目の開催です。しかし我々、青年にとっては初めての自国開催のオリンピックである。喜多方に聖火リレーが来るという話を聞いてから、私はこの機会を何かに役立てることは出来ないだろうかと考えていました。世界から注目されるオリパラの聖火リレーが福島県から出発することは、原発払拭の絶好の機会にすることは出来ないだろうか？喜多方の魅力を世界へアピールすることは出来ないだろうか？と考え、これを会津喜多方青年会議所の事業とすることを思いつきました。2020年3月27日（金）に喜多方へ聖火リレーがやってきます。そこへ向けて会津喜多方青年会議所だからこそできることとは何か？喜多方の魅力とは何か？喜多方に来てみたいと思ってもらえるような取り組みを考えていきたいと思っています。



TOKYO ● OLYMPIC  
2020